

蒲郡市男女共同参画情報紙

はばたき



特集●性別で得なこと、損なこと!?

「お互いの個性がひかる共同参画」

(平成16年度 男女共同参画週間標語)

第7号
2005.3

性別で得なこと、

損なこと!?

皆さんは日常生活で、女だから男だからということで、得したことや損したことってありますか？

今回は市内にお住まいの方に、日常生活で感じる性別による差や「これって変かも？」ということについてお聞きしました。「男だから、女のくせに」という周りや自分自身の思い込みや古い習慣の押しつけの枠から一歩踏み出せたら、みんなが「自分らしさ」により近づけるかもしれません。



女・男であることで得したこと

- ・ 職業選択の自由度が高い。(50歳代男性)
- ・ レディースデーには映画やガソリンスタンドで割安になったり、女性限定のランチがある。(30歳代女性)
- ・ 男の子は力仕事をするが、女の子はやらなくてすむ。(小学生女性)
- ・ 出産と育児で母親として感動させてもらえる。(30歳代女性・60歳代女性)

女・男であることで損したこと

- ・ 給与に格差がある。(40歳代女性)
- ・ 家族や仕事に対して責任が重い。(40歳代男性)
- ・ 男子の方が先生によく怒られる。(中学生男子)
- ・ 結婚すると、男性の生活に合わせなくてはいけない。仕事を続けたくても環境が整わなくて断念せざるをえない。住居や仕事、名字など全ての環境が変わるのは女性である。(30歳代女性)
- ・ 赤ちゃんを産まないといけない。(小学生女子)

日常生活で**変**だと思うこと

- 保育園の役員は女の方がやるって決まっているのはなぜ？小学校の役員は男の人だってやってるのに…。(30歳代女性)
- 子どもの用事では仕事を休みづらい雰囲気がある。(40歳代男性)
- 家事や育児は女の仕事という意識が根強い。(40歳代女性・60歳代女性)
- 地域の役員は、男性(夫)の名前で登録するのに、実際の活動などをするのは女性である。それなら、最初から女性の名前にすべきと思う。(30歳代女性)

家事や育児は**誰**がやっているの!?

- 自分と義母が中心になって、家族で分担している。(40歳代女性)
- 妻が炊事、洗濯、買物をし、自分は掃除を担当している。(60歳代男性)
- 夫は子どもと遊ぶ程度のことはしてくれる。(30歳代女性)

みんなが**“自分らしく”**生きるには どうしたらいいの!?

- お互いに分担し、協力し合う。(60歳代男性)
- 今までの日本社会における意識を少しずつ改善していくこと。(30歳代女性)
- お互いが相手のことを対等に考える。(中学生男子)
- 女性が職業についても困らないように、保育の長時間サービス、育児休暇を取っても不利にならない環境整備や男性のサービス残業等働きすぎの防止。(40歳代男性)



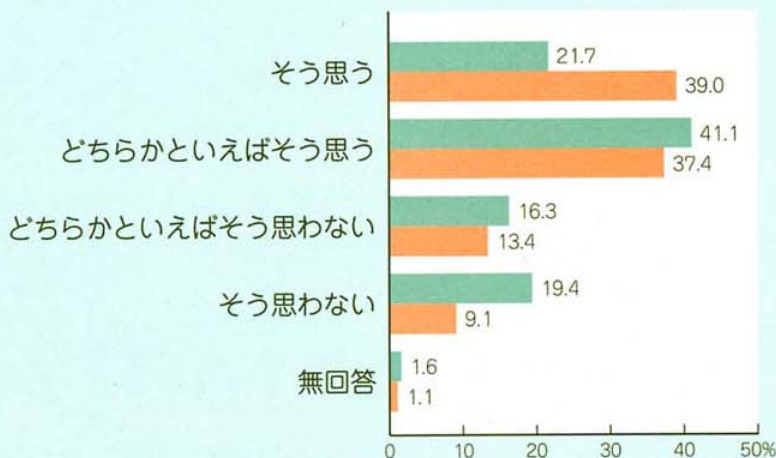
アンケートを
実施して

ふだんから、これは損とか得とか考えながら生活している人はいないと思います。性別による一般的な違いはあっても、全く同じ性質とは限りません。一人ひとり得意なことや不得意なことは異なります。大切なのは、お互いを認め思いやって補い合うことではないでしょうか。女性の考え方や行動が発展して社会が変わってきたのに対して、男性は今一歩、躊躇している様子が伺えたアンケート結果でした。

子育ては母親の仕事?!

3歳までは母親が家庭で育てる

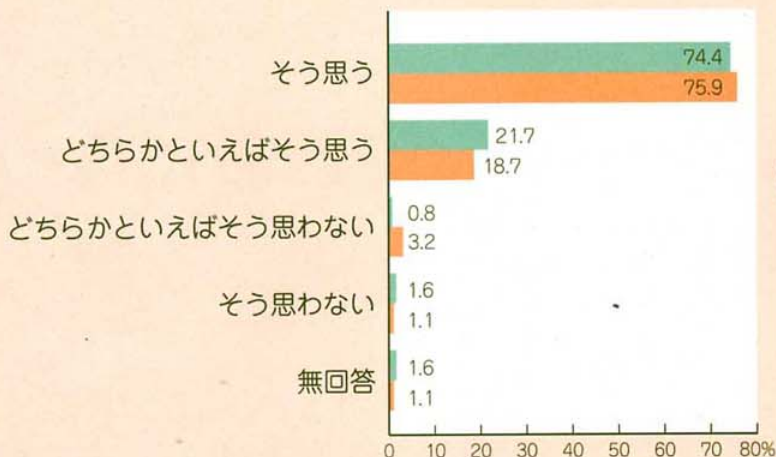
3歳までは母親が家庭で育てるでは、「どちらかといえばそう思う」が男性4割強、女性4割弱、「そう思う」男性が2割強、女性約4割をあわせると、「思う」と答えた人は男性6割強、女性7割以上となっています。



■ 男性 n=129
■ 女性 n=187

子育ては男女が共同して行う

「子育ては男女が共同して行う」では、「そう思う」が男女ともに7割以上、「どちらかといえばそう思う」が男性2割強、女性2割弱をあわせると、「思う」と答えた人は男女ともに9割以上となっています。



■ 男性 n=129
■ 女性 n=187

資料:「蒲郡市次世代育成支援行動計画策定に係るニーズ調査」(平成15年度実施)より

少子化対策の一環として次世代育成支援対策推進法が成立し、蒲郡市は次世代育成支援行動計画を策定することになりました。育児者の子育て意識や保育サービスのニーズ等を把握して市の現状を分析し、計画策定の基礎資料とすることを目的に、就学前児童及び小学校児童の保護者、21～30歳の男女を対象にアンケート調査をしました。今回は21～30歳の男女1,000人への調査結果(有効回収率31.6%)を抜粋して報告します。

調査概要

はばたき

第7号
2005.3

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

発行/蒲郡市 企画調整課

編集/「はばたき」編集委員

〒443-8601 蒲郡市旭町17-1

TEL 0533-66-1162 FAX 0533-66-1190

Eメール kikaku@city.gamagori.lg.jp

編集後記

仕事と子育ての両立というと女性だけの問題と思われるがちですが、父親である男性にも深く関わってくることで。男性の働き方や意識の改革など社会全体の問題として考える必要があります。またまた周囲の目や古い慣習にとらわれて自分の本当の意思とは違った行動をとってしまう人が多いように感じます。男女共同参画実現のための環境づくりが大切だと思います。